

書名	ビジュアル版 奈良1300年地図帳		著者名	別冊宝島 瀧音能之／監修			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-5120-6	本体価格	¥1,000	発売	2016/2/29
内容	日本古代史の舞台・奈良の歴史を地図で辿る一冊。「律令国家成立の地 飛鳥と藤原京」「唐の都・長安から学んだ奈良の都・平城京」「古代天皇御幸の地 吉野山(と修験道)」など、各地域の地形を見ながら歴史を解説していきます。歴史・地図ファンの方々はもちろん、「修学旅行以来、奈良を訪れていない」というみなさんも「大人のための修学旅行本」としてお楽しみいただけます。						

書名	新史論／書き替えられた古代史 5		著者名	関裕二／著			
出版社	小学館	ISBN	978-4-09-825189-6	本体価格	¥760	発売	2016/2/1
内容	雅な万葉歌に秘められた、藤原氏への怨念「あをによし 寧楽の京師は 咲く花の 薫うがごとく 今盛りなり」と歌われた平城京。しかし、花の盛りを謳歌していたのは、ひとり藤原氏だった。8世紀初頭、大宝律令の制定にかかわった藤原不比等が、その法を自家に都合よく解釈し、駆使することで、国家の中核へと昇り詰めていく中で行われた平城京遷都(710)。そこには一体どんな意味が隠されていたのか？ そして、藤原氏だけが栄えたこの時代、天皇の外戚の座を手に入れるためにどんな策謀がめぐらされ、いかなる真実が歴史から消し去られたのか？						

書名	マンガで学べる仏像の謎		著者名	田中ひろみ／著 青木淳／監修			
出版社	JTBパブリッシング	ISBN	978-4-533-10780-1	本体価格	¥1,400	発売	2016/1/30
内容	仏像の起源にはじまり、種類やお役目、製造法、そして仏像の胎内に隠された秘密まで、マンガで楽しく知ることのできる1冊。						

書名	日本古代の交通・交流・情報 1		著者名	舘野和己／編 出田和久／編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-01728-2	本体価格	¥5,500	発売	2016/1/29
内容	交通・交流・情報は、いつの時代にも重要な役割を果たした。律令制下の日本では、国家権力によって官道と駅伝制(えきでんせい)が整備され、国司・郡司や使者が中央・地方間を行き来し、東北や九州へ兵士が移動した。また庶民も税の貢納のために上京した。古代日本の交通制度とその下で展開した交通の実態を、中国・朝鮮諸国の制度も視野に入れながら明らかにする。						

書名	古代日本と北の海みち			著者名	新野直吉／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-06598-6	本体価格	¥2,200	発売	2016/2/15	
内容	日本とアジア大陸との往来には、朝鮮半島の西の海みち、トカラ列島を介した南の海みちの他に、日本海を渡る北の海みちも重要な役割を果たした。阿倍比羅夫の遠征、渤海国の使節、交易等から、古代日本の対外関係を考える。							

書名	アマテラス 真の原像を探る			著者名	藤巻一保／著			
出版社	原書房	ISBN	978-4-562-05289-9	本体価格	¥2,400	発売	2016/2/25	
内容	アマテラスとはいかなる神で、日本人にとってどのような意味をもつ神なのか。本書は、アマテラスが長い歴史を通じて何十枚と重ね着させられてきた衣装をはぎとり、風通しのよい場所で、あらためて太陽と海の神・ヒルメと出会うことを目的としている。その過程で多くの異形の神々と出会うことになるだろう。							

書名	六国史—日本書紀に始まる古代の「正史」			著者名	遠藤慶太／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102362-9	本体価格	¥820	発売	2016/2/25	
内容	日本書紀に始まる六つの歴史書『六国史』。この天地創世から平安中期まで、国家の動向を連続して記録した根本史料の魅力と軌跡を紹介							

書名	司馬遼太郎『街道をゆく』ガイド 奈良散歩			著者名	司馬遼太郎／著			
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-251351-9	本体価格	¥1,400	発売	2016/2/19	
内容	『街道をゆく』の全文にあわせ、詳細な用語解説と地図などを掲載。奈良に刻まれる千年の歴史から、文明と文化の違いを考察。							